

平成22年度 県立神栖高等学校自己評価表

No. 1

目指す 学校像	<p>1 「身を正し、場を清め、心を磨く」を共通目標として愛情を基盤とした教育活動を実践する学校。</p> <p>2 確かな学力と人間力の育成を図り、生徒一人一人の進路希望を実現することにより地域から信頼され選ばれる学校。</p> <p>3 情操と自尊感情の陶冶に努め次世代を担う心豊かな人間を育成する学校。</p> <p>4 特別活動を活性化し特色ある学校教育を推進し、生徒一人一人の個性と自立心の伸長を図る学校。</p>		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>共通実践目標のもと、全教職員で取り組んだ結果、校内環境美化も進み生徒の服装・頭髪にも改善がみられるようになった。学校全体が落ち着きを取り戻し、地域からの評価と信頼を回復しつつある。</p>	<p>愛情を基盤とする教育活動の実践 (基本的生活習慣の確立)</p>	<p>①遅刻指導を徹底し、遅刻者を平均10%以下に押さえることを目指す。</p> <p>②登校指導や巡回指導に加え、指導記録カードを適切に用いて、頭髪・服装・挨拶・携帯電話の使用法、言葉遣い等のマナー指導を徹底する。</p> <p>③交通講話やLHR、交通安全委員会の活性化等を通して、交通安全やマナーに対する意識を啓発する。</p>	B
<p>「豊かな心の教育」に全校あげて取り組み、ふれあい交流など体験活動を充実させた結果、一定の成果をあげることができた。</p> <p>進路指導に関しては、進学において4年制大学合格者決定率95%、短大と専門学校決定率97%、就職においては内定率が71%であった。不況により、就職においては厳しい状況になった。</p>	<p>確かな学力と人間力の育成 (進路希望の実現)</p>	<p>④進路希望状況を常に把握し、適切な情報を与えることにより、自己実現を目指して自ら学ぼうとする意欲を育成し、進学・就職決定率を100%に近づける。</p> <p>⑤授業時間の確保に努め、チャイムと同時に授業開始・終了を徹底する。</p> <p>⑥学校設定科目でのチームティーチング（1クラス5人で指導）や少人数授業を効果的に機能させる。資格取得を奨励する。</p> <p>⑦授業公開や授業研究に取り組み、指導方法の工夫・改善を図る研修を深めるなど、教員の資質と指導力の向上に努める。</p> <p>⑧課題や小テストを計画的に与え、授業や家庭学習に自ら取り組む姿勢を育成する。また、家庭学習時間0時間の生徒69%を60%以下にする。</p>	B
<p>生徒の自主・自立の精神を重んじ支援した結果、文化祭や予餞会などが主体的に運営され成功した。</p> <p>しかし、全体的に遅刻・欠席過多や学業不適応などに起因する中途転退学者が多いなど残された課題は多い。</p>	<p>情操と自尊感情の陶冶 (豊かな心をはぐくむ教育の推進)</p>	<p>⑨「声かけ・面談・家庭訪問」を積極的に行い、生徒や保護者との密なコミュニケーションの構築に努め、転退学者数を20人以下を目指す。</p> <p>⑩LHRや「道徳」等の指導を通して「自己の在り方生き方」を考えさせる。</p> <p>⑪インターンシップと「ふれあい交流体験学習」を更に充実させ、望ましい勤労観や職業観を涵養する。</p> <p>⑫文化祭、予餞会、音楽発表会等、感動体験の実施と充実を努める。</p> <p>⑬スクールカウンセラー等を積極的に活用し「心の居場所」となる学校づくりに努める。</p>	A
<p>生徒の規範意識や公德心の更なる高揚を図り「豊かな心の教育」を継続して推進していかなければならない。また生徒の進路実現を図るためにも、学校生活を充実したものとするためにも学習習慣の涵養と基礎学力の向上は今後教職員が一丸となって対処しなければならない最重点課題である。</p>	<p>特別活動の活性化と充実 (委員会活動・部活動等の活性化)</p>	<p>⑭部活動紹介を通して文化系・体育系の入部勧誘を進め、21年度より5%アップさせる。</p> <p>⑮LHRでホームルーム活動資料集等を活用して豊かな心の教育を充実させる。</p> <p>⑯生徒会が中心となり、各種委員会活動やボランティア活動を活性化する。</p> <p>⑰姉妹校等との交流を通して、国際理解教育の充実に努める。</p> <p>⑱学校行事等を積極的に公開し、地域に開かれた学校づくりを目指す。</p>	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題	
教科指導	基礎学力の向上を図り、学ぶ意欲を育てる。	指導法を工夫・改善して、生徒にとってわかりやすい授業を展開し、「学ぶ喜び」を味わせることによって学ぶ意欲を育てる。 ④⑤⑥⑦⑧			
教 科	国 語	授業に意欲・関心を持たせる。	授業時間を厳守し、50分間持続する集中力を育てる。 ⑤	A	漢字検定など資格取得。次年度は2年生で全員受検を行う。
		国語における基礎学力を確かなものとする。	読み書きを基本として、教科書本文についてきちんと音読し、内容を正しくつかめるようにする。 ④⑦	B	
		教材を通して豊かな人間性を育むような授業を行う。	授業公開や授業研究に取り組み、指導の工夫改善を積極的に行う。 ⑦	A	
			物語や小説教材を通して豊かな心を育む授業を工夫する。 ⑦⑧	B	
	地 歴 公 民	学習意欲の向上に努める。	学習用具の準備や時間厳守を徹底し、授業に集中する姿勢を培う。 ①②⑤	B	就職支援や基礎・基本の知識定着のために、授業の中でプリントや小テストを効果的に活用する。
		基礎学力の向上に努める。	ノートやプリントなどを定期的に提出させ、学習状況を確認する。 ⑦⑧	B	
			問題集や小テストを有効的に活用し、学習内容の確認・定着に努める。 ⑦⑧	C	
		興味、関心を高める授業の展開に努める。	授業内容に即した資料を提示することで授業への興味、関心及び学習内容の理解度を高める。 ⑦	B	
	数 学	基礎学力の向上を図る。	少人数授業やチームティーチングによるきめ細かな指導を行う。 ⑥⑦	B	数学検定の実施回数を増やす。
		家庭学習の習慣を定着させる。	ノートなど授業の記録となるものを定期的に提出させ、学習状況を確認する。 ⑦⑧	A	
			基本計算の練習を行い、計算力の向上を図る。 ⑥⑧	A	
			定期的に課題を出題し、家庭学習の習慣を付ける ④⑧	A	
	理 科	基礎学力の向上を図る。	継続的に小テストを実施する。 ⑦⑧	B	・身近な生活と学習内容を関連づける授業を展開し、積極的に実験を活用する。
			ノートやプリントなど授業の記録となるものを定期的に提出させ、学習状況を確認する。 ⑦⑧	A	
		興味・関心を育むため、効果的に実験を実施する。	各科目とも年間に授業単位数以上の実験を行う。 年間2回、教員の実験研修会を行う。 ⑦	C	
	保 健 体 育	規律ある集団行動の徹底を図る。	時間厳守を徹底し、開始時間前に着席・活動場所への移動・着替えをすませる。 ①②⑤	A	遅刻、服装準備など、引き続き毎時間指導する。
		学習意欲の向上を図る。	学校指定体育着の着用・制服の着用など運動・学習にふさわしい服装を心がける。 ②	B	
			協力して積極的に取り組む姿勢を育成する。 学力・体力の向上を目指す。 ⑧ ⑫⑭⑯	A	
	音 楽	音楽への興味・関心を高める。	生徒の興味・関心がある素材を教材として取り組み、授業を展開する。 ⑦	B	歌唱・器楽の演奏を通して表現力を身につけさせる。
		音楽能力の向上を図る。	生徒のレベルにあったプリントを作成しよりきめ細かい指導をする。 ⑦	B	
		定期的に小テストを実施する。 ⑦⑧⑫	B		
書 道	授業に臨む姿勢を定着させる。	始業時間を厳守し、互いに協力しながら準備・片付けをさせる。 ⑤	A	乱雑な字を書く生徒が多いので、就職・進学の事も見据え、実用的な硬筆書道に取り組む必要がある。	
	書の表現力・鑑賞力を身に付ける。	古典の書体を参考にして新しい自分の書体を発見し、表現を工夫する。 ⑦⑧⑫	A		
		古典作品の鑑賞や自分たちの作品の鑑賞・評価を通して、書的な美意識を育てる。 ⑦⑧⑫	B		
外 国 語	基礎学力の向上を図る。	授業公開や授業研究に取り組み、指導工夫改善を図り、指導力を高める。 ⑦	B	視覚教材開発も必要がある。 ・フラッシュカード ・地図 など	
		授業や家庭学習に自ら取り組む習慣づけを行う。 ⑧	B		
		少人数指導や習熟度別指導で生徒一人一人の理解度に応じた指導を行う。 ⑥	B		
	「わかる」授業展開のための工夫改善を図る。	小テストや課題提出などにより、各生徒の理解度を把握する。 ⑦⑧	A		
		英語及び異文化に対する興味・関心を高めるよう、授業の工夫改善を図る。 ⑦	A		
		基礎的なことを反復学習させ、苦手意識を克服させる。 ⑥⑧	B		
読 書	読む、聞く、話すスキルを修得させる。	ALTを効果的に活用し、実践的なコミュニケーションの場をつくる。 ⑦	B		
	できる授業展開の工夫改善を図る。	定期的なALTの授業への配置を徹底する。 ⑦	A		
	視聴覚教材を効果的活用し、ヒアリング能力の向上を図る。 ⑦	C			

教 科	家 庭	授業の正常化を図り意欲的に取り組ませよう努める。	授業を記録したノートを定期的に提出させ、学習状況を確認する。 ⑦⑧	A	A	・生徒の関心・意欲を持続させるために実験・実習をより多く取り入れる。 ・実習における基礎並びに基本の徹底に取り組む。
			始業時に、出席・座席・教具（教科書・身支度等）を確認し、授業を受ける姿勢・態度を定着させる。 ⑤	A		
		授業終了後に指導内容を点検し、気づいた点を記録し、授業の改善に活かす。 ⑤⑦	A			
	興味・関心を高める。	実習における評価基準を見本を通し理解できるよう明確にする。 ⑦⑧	A			
情 報 商 業	基礎学力の向上を図る		ノート・プリントを定期的に提出させ、学習状況を確認する。 ⑦⑧	C	B	プリントをもっと細かくチェックして状況を把握する。
			ネットワークを利用する上でのルール・マナーを理解させ守らせる。 ③⑦	B		
	授業への意欲を持続させる。	生徒のレベルに合わせた課題を出し適切に評価し、成果を評価し意欲を持続させる。 ⑦⑧	B			
	基礎学力の向上を図る。	基礎知識の学習に重点を置くことで、実技の理解度をあげる。 ⑦⑧	A			
業		定期テスト以外に範囲ごとにテストを行い、理解度を確認し、指導の工夫改善に活かす。 ④⑦⑧	B	B	上級資格の合格率向上と生徒全員の資格取得を目指す授業を展開する。	
	商業が好きになる授業を実施する。	検定を全員受験にすることで、検定の重要性、商業の大切さを理解させる。また、幅広い検定を実施することで達成感をもたせる。 ④⑦⑧	A			
教 務	授業時間の確保に努める。		始業時間と授業時間を厳守する。 ①④⑤	A	B	・校内授業週間等で教員相互の研修を活性化させるように努める。 ・姉妹校への留学と留学生の受け入れをしやすい仕組みづくりに努める。
			出張・年休等の際の授業交換の徹底を図り、学期ごとに95%以上を確保する。 ⑤	A		
			教科・科目の授業時間のバランスを図り、学校行事等が特定の曜日・時間に偏らないようにする。 ⑤⑪⑫	B		
	校内研修の充実に努める。	年間5回、人権、健康安全、学習、進路、生徒指導等の職員研修会を実施し、参加率90%以上とする。 ⑦⑮	A			
		学期に1回、校内授業週間を設定し、教員相互の研修の機会を計画・実施する。 ⑦⑮	C			
国際理解教育の充実に努める。		姉妹校との交換留学制度を活用し、互いの言語・伝統・生活習慣等を尊重することで、文化の多様性を理解させる。 ⑰	D			
		外国語指導助手との連携により、日常生活の中で外国の生活や文化に慣れ親しみ、生きた語学力を身に付けさせる。 ④⑰	A			
		JICA等が主催する国際交流のイベントに参加し、国際的な視野や感覚を身に付けさせる。 ⑯⑰	E			
特別活動	生徒参加の生徒会運営を図る。		各種委員会を計画的に活動させ、各委員会同士の連携をとり、活性化を図る。 ⑯	C	B	委員会活動・強化月間の取り組みについては、更に充実させる必要がある。部活動は部員の確保に努め、活動を活性化させることが学校全体の発展につながる。
			強化月間の取り組みを通して、生徒評議会・生徒会の主体的な運営に努める。 ⑯	B		
			部活動紹介を積極的に行い、部員確保と部活動の活性化に努める。 ⑭	C		
	HR活動の充実に努める。	生徒会を中心にしたボランティア活動や広報活動を推進する。 ⑯⑱	C			
		強化月間の取り組みを通して、生徒の主体的な姿勢を引き出し、HRの充実に努める。 ⑮	B			
		「道徳」を中心とした総合学習の時間やHR活動を充実させる。 ⑩⑮	B			
生徒指導	家庭との連携を密にして基本的生活習慣の確立に努める。		クラスマッチや文化祭を通して、クラス及び学校全体の連帯感を育成する。 ⑯	A	A	ピアスの指導に力を注ぐ必要がある。 交通安全に対する意識改革を進める必要がある。 マナーの徹底が今後の課題である。
			教員による毎日の登校指導と、毎月3回のPTA・同窓会・青少年相談員との連携した声かけ挨拶運動に、生徒会主体の活動を積極的に取り入れる。 ②③⑨	B		
		遅刻の多い生徒への指導体制（担任→主任→生徒指導）を確立する。 ①②⑨	A			
	危機管理能力を育成し、自他の命を大切にすることを育む。	服装・頭髪の指導を徹底するとともに挨拶や言葉遣い等のマナーを徹底する。 ②⑨	B			
		登下校時に、学校周辺や通学路の巡回を実施する。 ②⑨	B			
		校内外での喫煙防止のために毎休み時間の巡視指導を徹底する。 ②⑨	A			
		防止教室・安全教室等を適切に実施する。 ③⑮⑱	A			
図書視聴覚	基礎学力向上のための読書の推進を図る。		アンケートを実施し、生徒・教員の希望図書を購入する。 ⑯	B	B	・授業時の図書館利用の為の資料の充実 ・希望図書のアンケートのやり方の工夫 ・図書館の一層のPR活動
			校内における読書の推進を図るため、図書館報（年2回）を作成、配付する。 ⑯	A		
			俳句コンクールを毎年恒例行事として定着させる。 ⑫⑱	A		
	授業を支援するために図書館の充実に努める。	図書館内の美化や図書の配置・整備を工夫し、利用しやすい図書館にする。 ⑯	B			
		授業時の図書館利用に対応できるように資料を充実させる。 ④⑧⑮	B			

進路指導	生徒の主体的な進路選択の支援を積極的に行う。	4月、9月、1月に進路希望調査を実施し、希望動向を把握する。	④	A	A	不況のため就職が、進学以上に困難な状況。特に女子向けの求人がなく、支援ができない。キャリアアップ対策としての進学が必要。
		進路意識高揚のため、進路講演会を各学年1回行う。また、2学年において体験授業を行う。	④⑪	A		
	進学・就職指導の充実を図る。	「進路だより」を毎月発行、進学お金講座を実施し、生徒・保護者に進路情報を提供する。	④⑨	A		
		進学に対応できる学力を育成するため、課外授業・学習合宿を放課後・長期休業時に実施する。	④⑦⑧	B		
		職業人講演会や見学体験を2学年で実施し、早期の進路への意識付けを図る。	④⑪⑮	A		
面接試験対策を3学年で2回行い、就職者としての言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	②④	B				
保健厚生	学習環境を整備する。	校内美化の推進。ワックスがけ週間を設定し校内美化を推進する。	⑬⑮	A	A	・環境美化を推進する ・委員会活動と連携をとり活性化する。
		ゴミの分別を徹底させる。	⑮⑯	B		
	生徒、教職員の心身の健康の増進を図る。	保健室の効果的な運営に努め、担任と密に連絡を取りあう。 保健委員活動、整美委員活動と密に連絡をし、活発に活動をする。	⑨⑬ ⑯⑱	A A		
渉外	PTA活動を充実させ、家庭との連携を密にし、家庭の教育力の向上を図る。	PTA諸活動への参加率を高めるように工夫する。	⑦⑱	B	A	・参加率向上のための対策を検討する。
		PTAの広報活動の充実を図り、広報誌を年2回発行する。	⑱	A		
		保護者間の交流と親睦を図るために、研修会の実施、支部独自の行事を年に数回実施する。	⑫⑱	A		
第1学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	月1回の頭髪服装指導を行い、規範意識の向上に努める。	①②③	B	B	一部生徒に対して指導が徹底できなかったため、学年全体で連携を取り、きめ細かい指導を行っていく。
		登校指導や5分前行動の呼びかけを実施し、時間を守る意識を高める。	①②⑤	B		
		家庭との連絡を密にし、問題行動の未然防止及び改善に努める。	⑨⑩	A		
	基礎学力の向上を図る。	学校設定科目を活用して集中力を高め、学ぶ姿勢の改善を図る。	⑥⑦	A		
		家庭学習の習慣づけや、課外授業に積極的な参加を呼びかける。	④⑥⑧⑨	B		
		学習合宿、各種検定試験に積極的に取り組ませる。	⑥⑧	B		
進路指導を充実させる。	LHRや個別面談を通して、自分の進路についての関心を深めさせるとともに、それぞれの生徒にあった進路指導を行う。	④⑩⑪⑮	A			
心の教育を充実させる。	「道徳」の時間を活用し社会の中での自己の在り方、生き方について深く考えさせる。	⑩⑪⑬	A			
第2学年	基礎学力の向上を図る。	授業時間を確保、チャイムと同時に開始し、授業に対する態度を育成する。	①⑤⑦	B	A	遅刻、欠席の減少のため、継続的な助言、指導、連絡を行う
		一般常識用の問題集を用意し、定期的な学習時間を与える。	⑧⑩	A		
		課外授業・学習合宿・模擬試験を実施し、積極的な参加を呼びかける。	④⑧⑨⑩	A		
	基本的な生活習慣の確立を図る。	計画的に服装指導を行い、規範意識の向上を図り、集団の一員であることを意識させる。	②③	A		
		遅刻指導・チャイム前着席を励行し、時間を守る意識を高める。	①⑤	B		
		家庭との連携を密にし、協力しながら問題改善に努める。	⑨⑬	A		
進路指導を充実させる。	個別面談を実施し、適切な情報を与え、個々にあった進路指導を行う。	④⑨⑩⑪	A			
	様々な行事を計画し、将来の進路決定に向けての体験をさせる。	④⑨⑩⑪	A			
	資格取得を奨励し、必要に応じ、課外指導を実施する。	④⑥⑨	A			
第3学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	計画的に服装指導を行い、規範意識の向上を図り、集団の一員であることを意識させる。	②③	A	A	遅刻数の減少に課題が残る。 就職活動に対する意識が低い者に対して適切に導く必要がある。
		遅刻指導・チャイム前着席を励行し、時間を守る意識を高める。	①⑤	B		
		家庭との連携を密にし、協力しながら問題改善に努める。	⑨⑬	A		
	進路の実現に努める。	総合的な学習の時間を活用し、進路選択のための情報提示に努める。	④	A		
		月例の一般常識テストを実施して、基礎的な教養を身に付けさせる。	⑧	A		
		社会人としての自覚を促すため、生活態度、言葉遣い等の指導を継続する。	②	B		
社会へ向けた意識の向上を図る。	進学課外を実施して、進学希望者の実力を養成する。	④⑧	B			
	授業態度を正し、社会に向けたマナーを育成する。 交通安全について指導し、あわせて命の大切さを理解させる。	② ③⑨⑩	B A			

※評価基準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない